

# 日本画の抽象 —その日本的特質

'94.2/11[金]→3/9[水]

前期:2月11日[金・祝]→2月23日[水] 後期:2月25日[金]→3月9日[水]

●開館時間=午前10時→午後6時30分(入館は6時まで)●休館日=本曜日

●入館料=一般500(400)円/高・大生300(200)円/小・中生100(50)円

\* ( )内は20名以上の団体料金 \* (会期中、一部展示替えがあります)

○ 美術館

東京都品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館  
TEL.3495-4040



# 日本画の 抽象

—その日本の特質

朝倉 摂  
岩崎 鐸  
岩澤重夫  
岩田重義  
岩橋英遠  
上田臥牛  
大野倣嵩  
楠田信吾  
久保田耆重郎  
児玉希望  
榊 健  
佐藤多持  
塩原友子  
下村良之介  
杉山 寧

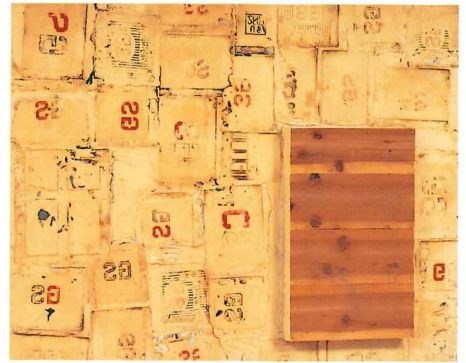
堂本印象  
堂本元次  
中島清之  
名合孝之  
野村 耕  
野村久之  
不動茂弥  
船田玉樹  
星野真吾  
三上 誠  
水谷勇夫  
山崎 隆  
山本知克  
湯田 寛  
(五十音順)

「日本画」という伝統的と考えられているジャンルでも、昭和前期において前衛的な活動を行っていた作家や、戦後も特に50～60年代においては、欧米の抽象表現の紹介とその影響を受けた当時の日本の洋画の動向に刺激を受け、日展から在野のグループにいたるまで、様々な抽象表現が試みられてきました。

そこでは欧米の新しい絵画思潮の影響を受けつつも、他の油絵等と異なった特異な日本的な表現が指摘できるような思われます。それは、合理的な造形的洗練を求める抽象というよりは、具象的な形体を残し、むしろ極めて有機的な生命へと迫ろうとするものが多く見られます。その有機的な存在への探究は象徴的な形をとり、時には宗教的な雰囲気さえたたえるものとなります。また、一方ではコラージュをほどこし、また顔料に他の物を混ぜ合わせるなど、様々な材質上の試行を行い、より物質性の強い志向を見せるものもあります。

今回は、特に「日本画」における抽象表現があるたかまりをみせた1950～60年代を中心に、パンリアル美術協会・ケラ美術協会などのいわゆる在野の作家たちの他に、日展等の作例も入れた70余点を展示することで、従来探究されることのなかった日本画における抽象の問題をかんがえようとするものです。

そこでは既存の「日本画」を脱しつつも、いかに日本近代的な特殊なかたちで伝統と結びついているのでしょうか。その特質を考察することは、ひとり「日本画」という近代の特殊地帯だけの問題ではなく、現代にもかかわる日本における抽象の孕む極めて重要なポイントを浮かび上がらすことともなりました。



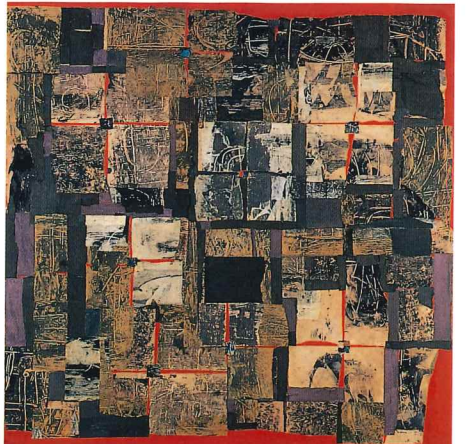
楠田信吾「WORK」1963



堂本印象「無礙」1958  
京都市美術館蔵



朝倉摂「瓜子姫とあまんじゃく」1962



塩原友子「あじさい」1967 群馬県立前橋女子高等学校蔵

## ●シンポジウム

2月26日[土] 2:00P.M→4:00P.M  
北澤憲昭(美術批評)/中村英樹(美術批評)  
/天野一夫(司会・O美術館学芸員)

## ●ギャラリートーク

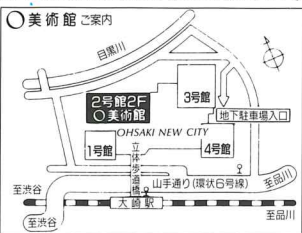
2月12日・19日・3月5日[土]  
2:00P.M→3:00P.M  
天野一夫

## ●交通

JR山手線大崎駅東口下車徒歩1分  
東急バス(大井町→渋谷駅)大崎駅下車  
徒歩1分

## ●駐車場

美術館専用駐車場はございません。  
お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」  
地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。



(財)品川文化振興事業団

## ○美術館

東京都品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館  
TEL.3495-4040